

ヒロシマ ユネスコ

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。(ユネスコ憲章・前文から)

ドーム世界遺産登録記念

講演と朗読劇の夕べ 開催

加藤剛さん、広島市長を迎えて

原爆ドームが昨年、ユネスコ世界遺産に登録されました。

これを受けて広

島ユネスコ協会はこの七月、「原爆ドーム絵はがきセット」を発行し(次頁参照)、今回、記念事業の第二弾として「講演と朗読劇の夕べ」アウシュヴィッツからヒロシマへ」を開催します。

最初の「講演」は、広島市長による「原爆ドーム発、世界へのメッセージ」。

世界平和連帯都市市長会議、国際司法裁判所(ICJ)証言、「原爆展」、海外開催などの地球規模の平和活動に基づくスピーチが展開されます。

なお、広島市長は今年の平和宣言でユネスコ憲章前文「平和の砦を人の心の中に築かねばならない」を引用して「この一節を胸に刻み、広島市の決意とする」と結ばれました。

× × ×

朗読劇台本から

一昨年夏、私はひとりの先生と出会いました。

ヤヌシユ・コルチャック。ユダヤ系ポーランド人です。医師で、作家で、教育者であり、人気のあるラジオのパートナリテイでもあった有名な方です。出会ったと言いましたが、それは私が俳優だからこそ出来たことです。



加藤 剛さん(俳優座)

俳優座養成所時代にテレビドラマ「人間の条件」の主人公を演じ、一躍注目される。代表作に舞台「わが愛」三部作、映画「忍ぶ川」「砂の器」、テレビ「大岡越前」など多数。著書に「海と薔薇と猫と」「歩く人～加藤剛：写真集&エッセイ」など。

先生は一九四二年八月六日、ナチス・ドイツの手によってトブレリンカの殺人工場、ガス室に送られ、先生の孤児院の子どもたち二百人とともに亡くなっています。私とはこの世をたった四年しか共有していません。

舞台劇「コルチャック先生」の主演者として迎えられるまで私はこんなに素晴らしい人間の存在について詳しくは知りませんでした。

しかし、ポーランドの誇りであるドクター・コルチャックはヨーロッパではその思想と人生がよく知られている著名人です。

ナチス・ドイツですら、特別にドクターの命だけを救けようとしたのですが、先生の選んだのは永遠に子どもたちとともにある人生でした。

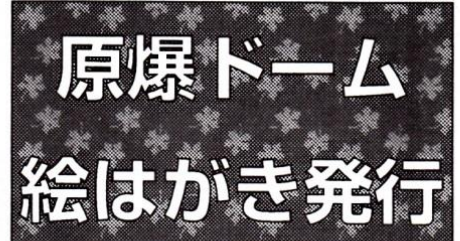
私は、一昨年五月、ポーラ

ンドを訪れました。先生の歩いた木の下を歩き……先生の昇った階段を昇り、先生の座った椅子に座るためです。

俳優にとって役と同じ空気を吸うことはとても大切なことですから。

一九九七年度役員

- 名誉会長／平岡敬○顧問／永井滋郎、松原博臣、沖原豊、倉田信雄、加藤朗一○会長／伊東亮三○副会長／信井正行、深崎敏之、高橋昭博、木村進匡、竹沢臣子○理事／(教育組織部)(常任) 太鼓矢晋、北川建次、松岡盛人、末重文男(理事) 奥中正之、中谷美保子、藤原隆範、岡平裕次、山崎芳彦(文化部)(常任) 新川貞之、平岡豊恵、米山幸夫(理事) 光田鈔、藤井孝行(国際交流部)(常任) 藤井正一、山崎克洋、永田龍男、長迫凱郎(理事) 松尾昭彦(平和活動部)(常任) 大和喜久男、内田憲至、上本忠則(理事) 木原亮、中山修一(広報部)(常任) 古田碩永、由田千鶴子、山本隆信(理事) 沖本博(事務局長) 亀井章(事務局)(常任) 上橋穂昭、佐々木肇(理事) 国田繁、西村憲治○監事／本家正文、水野文隆



世界遺産化を記念

広島ユネスコ協会では、このほど、原爆ドームが世界遺産に登録されたことを記念して、原爆ドームに関する絵はがきの発行・頒布事業を実施いたしました。

これは、原爆ドームの世界遺産化運動に、他団体とともに、署名活動などを通して取り組みを続けてきた当協会が、会員全員で、その登録実現を喜び、ユネスコ活動を通じて、被爆の惨禍を伝える証人としての原爆ドームを介して世界恒久平和実現のために努力することを具体的にあらわしたものです。国の内外に、原爆ドームの実像やそのもつ意味を、視覚を通して再確認してもらうことに役立つことと思います。

内容は、戦前の県立商品陳列所時代の勇姿、被爆直後の破壊された姿、現在の姿二葉、それに写生大会で最優秀作品となつた小学校五年生の絵の五枚の絵ハガキセットです。ケースには、四国五郎さんの「レクイエム」の絵を表紙とし、原爆ドームの歴史や意義、世界遺産条約の説明、世界遺産の区域の図などをあしらっています。

作成には、当協会平和活動部を中心に編成されたプロジェクトチームがあたり、数回の編集

会議を経て発行にこぎつけたものです。当初は、千五百部を印刷し、当協会会員、日本ユネスコ協会連盟、全国のユネスコ協会（二百五十団体）、在広平和活動団体、国際交流団体などに寄贈し、有料頒布（二百五百円）の注文を受けつけました。その結果、予想を裏切つて、高い関心が寄せられ、大変多くの注文がありました。そのため、二千部を増刷し、現在も注文の対応に追われています。

絵はがきに 寄せられた声

◇遺産化にあたってのご尽力に心から感謝と敬意を表します。

（平岡敬さん）◇会員外の人たちにも紹介しようと話しあいました。（奈良ユ協）◇がんばつて下さい。（岐阜県ユ協）◇地球上で最初に原爆を受けた日本、世界に平和活動が続けるユネスコの世界遺産として、原爆ドームを

源としてアメリカをはじめ世界に強く訴え続けていこうではありませんか。（兵庫・大橋さん）◇大変意義深い。よく出来ている。（千葉県ユネスコ・アルムニクスクラブ）◇よいデザインです。（倉敷ユ協）◇感無量です。世界

また、平和記念資料館売店に販売を委託し、広く市民の方々に頒布をしています。現在、三百部が出るなど、こちらの方も人気は上々のようです。

とくに、全国のユネスコ協会にこの絵はがきを送ったことは発行の目的である原爆ドームを通じて平和実現を図ることに大きく寄与したものと考えられます。

なお、この事業は、ヒロシマ・ナガサキ平和基金助成事業とし

の平和達成に努力したいと思えます。（宮崎ユ協）◇英文の解説をもう少し入れて欲しい。ユネスコの関係先の海外各地への通信にも活用させていただきたいと思えます。（大阪ユ協）◇記念にしたいはがきです。（兵庫・佐用ユ協）◇絵はがきはこれまでにないものでお礼申しあげます。（浜松ユ協）◇よくできています。（平田嘉三さん）◇よくまとまったはがきと思います。（藤井孝行さん）◇すばらしい企画。とてもよいことをされたと思います。（奥田治世さん）◇原爆を知ってもらうためによい写真と

思います。（吉田此君さん）◇写生大会はとても寒い日でした。冷たい土の上で一生存命絵をかいていると五十二年前の夏の

て実施されたものです。紙面を借りてお礼を申しあげます。

また、この事業に快く写真や絵を提供してくださった井手三千男さん、大埴真弥さん、四国五郎さん、原爆ドームの世界遺産化をすすめる会、広島市公文書館、広島平和文化センターの個人、団体・機関に対しても厚くお礼申しあげます。

事務局には、まだ残部がありますので、ご注文ください。

暑い日に原子爆だんのために沢山の人が死んだり建物が焼けたりするとともにこわいことがあつたとともに信じられません。平和公園は、木も多く緑にかこまれて、ハトもうれしそうに飛んでいます。原爆ドームを見上げてみる人もみんな楽しそうにお話しをしています。そのよう

すや鉄筋だけになったドームやレンガの色などをくわしくていねいに書きながらいつまでもこの平和が続くように祈りました。この絵が賞をいただいたり、ユネスコの絵はがきになったりして、とてもかんげきしています。私の宝物としていつまでも大切にしたいと思えます。（絵

を提供していただいた安東小六年大埴真弥さん）

高校生のつどいが二十周年

地道な活動、街頭募金も63万円

永田龍男

一九七八年十一月十二日、広島ユネスコ協会再編発足五周年の記念事業として、広島市及び周辺の高校生を対象に、広島大学に学ぶ各国からの留学生との交流による国際理解教育の推進を目的とする集いが、広島市平和記念館で開催された。当協会顧問内海巖先生の提唱によるもので、八高校から五十五名もの生徒が集い、熱心な話し合いがもたれた。「広島ユネスコ高校生をつどい」の誕生である。

翌一九七九年十一月二十五日に、同所で行われた第二回つどいの反省にもとづき、一九八〇年からは高校生による主体的な企画運営が始まった。生徒準備会の席上、ユネスコ・コアアクション運動に呼応した街頭募金活動を行うとの提案が広島附属高校から出され、採択されたのもこの年であり、爾来、今日に至るまで「つどい」当日の午後、継続実施されている。

募金活動であったが、第六回からはさう前の一か所に絞られる。十一月と十二月の実施のため、年により身を切る寒風を突いての若々しい呼びかけが頼もしい。寄せられた浄財は、日ユ協連を通して、一九八八年の第十一回までは一貫して「アフ리카・マリ共和国の植林事業」へ、第十二回からは、今日も引き続き、「世界寺小屋プロジェクト支援事業」へ送られている。この間の募金総額約六十三万円也。まさに継続は力なり。手づくりの横断幕、ミニ造花のマスケットなど生徒たち自身のさまざまな創意工夫が発揮されている。

広島市教委外国人英語講師から始まった午前中のつどいの講師陣も、第六回からは広島大学に学ぶ留学生となり、延べ七か国三十数人に及ぶ。また、第十回と第十一回には、深崎敏之当協会副会長のご尽力により、姉妹都市、重慶・ボルゴグラード市への派遣高校生の参加を得て

同年代の高校生の体験発表に続く交流を通して研修を深めた。

一九九一年からは広島ユネスコ高校生海外研修が五年計画で実施され、アメリカ合衆国（九一年）、ヨーロッパ（九二年）、東南アジア（九三年）、オセアニア（九四年）、中華人民共和国（九五年）での研修に参加した高校生の研究・体験発表を基調として異文化理解、国際協力に視点を置いた研修が主流となった。昨一九九六年は、バンダラシユをテーマとして平素の活動の成果を分かちあった。一九八七年の民間ユネスコ運動四十周年記念大会の席上、他の八団体とともに、この継続された活動が日ユ協連から全国表彰された。

高校にあつては、近年、クラブ離れが顕著であり、とくに文化系クラブは衰退の一途をたどっている中、地道に活動を継続している広島第一女子商業高校（現・桜ヶ丘高校）および広島大学附属高校を中心とする、広島市及び周辺の多くの高校の生徒の手により、本つどいは推進されてきた。一九五三年、パリのユネスコ本部より広大附属高校がユネスコ協同学校の指定を受けて以来、広島の地における国際理解教育活動の灯は、今日に至るまで脈々として継承されている。本年も十一月中旬に第二十回目のつどいを予定し、現在企画中である。

その誕生から現在に至るまで終始ご指導をいただいていた加藤一当協会顧問、太鼓矢晋常任理事、各高校歴代の顧問教諭各位のかけのご尽力なくしてはその存続も叶わなかったであろうことは想像に難くない。

（常任理事）

「つどい」を「つどい」へ

第十四回へあせろべ（国際交流イベント）英語の Peace Love をスペイン語風に読んだもの（が）ことしも、十月五日（日）

午前十時から午後三時まで（財）広島市国際交流協会などが主催して、市民球場西隣のハノーバー庭園で行われます。

例年は、中央公園で行われていましたが、ことしはグリーンフェスタの会場となるために変更されたものです。

このイベントは、いろいろな国の人々との交流を図るため、ステージ発表、活動紹介ブース、食文化を味わうブースなどを内容としています。広島ユネスコ協会も、親子が楽しめるわらわりのづくり、木細工・凧づくりなどのコーナーを設けて参加します。みなさんも是非ご参加ください。

ユネスコ国際交流サロン

- とき / 10月18日（土）午後1時30分から
- ところ / 農協ビル9階（中区大手町、市役所前）
- 演題 / ガラスよもやま話
- 講師 / 宮田洋子さん（グラスミュージック代表、ガラス工芸家。）
- 会費 / 1,000円（お茶代等）



異文化の共生

理事 奥中正之

この度副会長の信井様をはじめ皆様のご推挙により、図らずも理事に就任致しました。

広島ユネスコ協会と私とのご縁は、私が(財)ひろしま国際センターの常務理事を務めさせて頂いている時に、草の根の国際交流促進の見地から、『国際交流サロン』に参加させて頂いたことから始まりました。

「異文化の共生」が21世紀における人類共通の理念になることを願っております。

「会員をふやそう」

木村進匡

世界平和を訴える心地良さ

この半世紀、人類は放射能の魔力に魅せられている。本来の目的の平和利用の前に、原子爆弾を戦争に使い、多数の市民を無差別に惨殺し、いまなお多数の市民が放射能の後障害の発病に苛まれている。そのモニメントの広島

の地で、市民がユネスコ精神

とを願っております。

なお、ユネスコ協会の活動について若い世代の人達に興味を持ってもらい、そして若い人達の参画を得るために、『国際交流サロン』を活用してはどうかと考えております。

広島ユネスコ協会の理事に就任するに当たり一言ご挨拶と提言を申し上げます。

伊東会長、日ユ

協連中央委員に

広島ユネスコ協会伊東亮三会長は、日本ユネスコ協会連盟の本年度総会で中央委員に選出されました。任期は二年です。

なお、当協会からの中央委員

で平和を訴える。地球の破滅の危険を訴える。

広島ユネスコ協会を支えてそれらの危険を訴え、世界平和の大切さを語ることに参加し支援する心地よさ。政治的立場にも、宗教的立場にも、国家的立場にもすべて自由に真心で参加する清々しさ。

組織は力がなくては動けない

広島ユネスコ協会は、息の長い市民活動をしてきた。北京ユネスコ協会などの相互交流による国際理解・国際協力、お茶

就任は、河村盛明元会長に次いで四人目です。

一九九七年度総会開く

本年度総会は、去る五月三十一日、広島アンデルセンで開かれ、前年度事業・決算報告を審議承認し、次いで本年度事業と予算を討議して決定されました。

また、会則の一部改正(副会長定数を「三名」から「若干名」にも承認されました。

本年度事業の柱として、ユネスコ世界遺産に登録された原爆ドームの絵はがき発行・頒布企画が正式決定され、取り組むことになりました。

を飲みながらの「国際交流サロン」、市民への啓発活動としての講演会など。しかし、

市民運動としては、もっと力が欲しい。それは「数は力なり」である。まわりの友達に協力を求めよう。会員一人が一人を勧誘すると会員数は倍増する。そして組織は力をもつ。すばらしい目的をもつ広島ユネスコ協会に仲間をふやしたい。みなさんのご協力を求めるものである。

(教育・組織担当副会長)

水戸ユ協、世界遺産巡り

水戸ユ協の木村信子さんから人が、八月二十日、ユネスコ世界遺産巡りの旅で広島協を尋ねてこられました。「是非ヒロシマのお話を」という一行の要請に応じて、翌二一日、高橋昭博副会長が平和文化センターでレクチャー。一行は翌日、広島へ向かわれました。

「宮島の森」整備事業

山火事、台風・大気汚染の被害を被ってきた宮島の森林を整備するため国土緑化推進機構などの主催(日ユ協連後援)で、一日ボランティアを求めています。九月二三日(祝)、県営棧橋集合、宮島へ渡ります。詳しくは当協会へ。

日誌

〈四月〉

二六日 理事会

ユネスコ・サロン「国際性豊かな渡り鳥」日 本野鳥の会会員・日比野政彦氏

〈五月〉

三一日 総会

ユネスコ・サロン「世

〈六月〉

二三日 絵はがきプロジェクト
二八日 理事会

〈七月〉

五日 正副会長会議
一四日 絵はがきプロジェクト
一九日 絵はがき発行一刷
理事会

ユネスコ・サロン「ア

メリカから見た日本」
広島経済大助教授上田みどりさん

二二日 絵はがき拡大プロジェクト(発送作業)

〈八月〉

七日 正副会長会議
二七日 広報部編集会議
二九日 「夕べ」プロジェクト

〈九月〉

二日 理事会
文化部会サロン企画
一日 「夕べ」プロジェクト
二五日 講演と朗読劇の夕べ

訃報

吉岡尊治氏(監事)

平成九年三月七日、肺炎のため逝去。享年八十二歳。

成田鉞雄氏(監事)

平成九年三月二十日、心不全のため逝去。享年七十一歳。